第13回若者力大賞表彰式開催予定

2022年2月17日（木）午後6時より
東京・六本木ヒルズ・ハリウッドホールにて
（YouTube同時配信）

第12回若者力大賞表彰式
スピーチ全容
はこちらから
YouTube

2021年度 事業計画

海外研修GET

AJAFA-21

若者力大賞

異業種交流研修会

リーダー育成事業
1
- LEP
（年間リーダー育成プログラム）
- GET
（学生向け東南アジア研修）

国際交流事業
2
- AJAFA-21との交流促進
- さくらサイエンスプログラム
（アジアから来日研修生受け入れ）

社会啓発事業
3
- 若者力大賞
- 講演会（異業種交流研修会、受賞者講演会、アジアの会）
- 広報活動
（広報誌、ホームページ、SNS）

事業はすべて公益事業とし、３つの事業を柱として遂行します

入会のご案内

当協会は、協会の活動にご賛同いただく皆様からのご支援で運営されています。

［年会費］法人会員：600,000 円　　個人会員：一口 5,000 円

法人の方は所得控除の適用となります。（非課税扱い）　個人の方は所得控除・税額控除のいずれかを適用できます。
ご入会希望の方は下記ホームページよりお問い合わせください。

公益財団法人
日本ユースリーダー協会
DEVELOPMENT ASSOCIATION FOR YOUTHLEADERS

〒105-0002 東京都港区愛宕1-6-7　愛宕山弁護士ビル８階　TEL：03-6441-0581　FAX：03-6441-0582
HP：https://www.youthleader.or.jp　　Mail：day@youthleader.or.jp

ホームページはこちら

若　者　力　は　明　日　の　社　会　の　エ　ネ　ル　ギ　ー

YOUTH LEADER

Development Association for Youthleaders

2021 AUTUMN Vol.150

公益財団法人
日本ユースリーダー協会
DEVELOPMENT ASSOCIATION FOR YOUTHLEADERS

〒105-0002　東京都港区愛宕１-６-７
愛宕山弁護士ビル８F
TEL：03-6441-0581　FAX：03-6441-0582
web：https://www.youthleader.or.jp
mail：day@youthleader.or.jp

CONTENTS

特集
①中村副会長インタビュー …… P.02
②評議員の紹介 …… P.03

社会啓発事業
第12回
若者力大賞スピーチ …… P.04-06

編集後記 …… P.06

2021年度活動 …… P.07

特集① 中村副会長インタビュー

Interview

9月16日(木)
13：00～14：00
場所：山九株式会社　本社

日本ユースリーダー協会では、今年度8月からインターン制度を開始しました。インターン生の２名が中村副会長を山九株式会社本社に訪ねて、若者に対する思いをインタビューしました。

評議員会副会長　中村　公一
山九株式会社　代表取締役会長

佐藤：本日はご多忙の中、このような機会をいただきありがとうございます。インタビューをさせていただきますインターン生の佐藤喜一（よしかず）です。

佐々木：同じくインターン生の佐々木陽向（ひなた）です。

佐藤：それでは早速ですが、質問に入らせていただきます。まず、日本ユースリーダー協会の副会長に就いた経緯はなんでしょうか？

中村副会長：きっかけは前任の西尾さん（現顧問）からの紹介でしたが、当時の会長の三村さん（現顧問）の日本製鉄株式会社は山九の最大のクライアントでもありましたから、2人から紹介されたような感じです。そして若者力大賞の表彰式に行きましたが、あのような若者が羽ばたいている姿を見るのが好きなんです。また、当時のGETは行ったきりだったので、そこに対して「GETだけで終わりはもったいない。GETに行った学生に協会のイベントに参加してもらって、最後には若者力大賞を見てもらう、そこまでのフォローアップをかけた方がいい。」と思い、GET終了後も繋がり続けることを提案しました。

佐々木：私たちも、GETの後に色々なイベントに参加できたおかげで今ここにいます。このフォローアップがあるということが、他にないGETやLEPの良いところだと感じています。今はインターン生としてフォローアップのプラン作りに携わらせていただいているのですが、そのきっかけを作ってくださったのは中村副会長だったんですね！

中村副会長：せっかく世界を見てきたのだから、現地で日本を少し紹介して終わりではもったいないですよね。GETから帰ってきた後にそのまま研修の続きのように、1年を通して様々なイベントに参加し、最後に若者力大賞を見て「こんな素晴らしい人が世の中にはいるのか」とわかると、もっともっとこの協会を宣伝してくれるはずです。

佐藤：そうですよね。若者の発信力は本当にすごいですよね。そのGETについてお聞きします。GETを通じて学生にどういうものを吸収して帰ってきてほしいですか？

中村副会長：まさにその国の生い立ちや宗教観・生活習慣・文化などですね。自分たちとは「違い」があるということを受け入れてきてほしいです。受け入れるところから多様性というものが生まれてきます。日本を飛び出て世界を見て、井の中の蛙にならないでほしいです。

インターン生　佐々木 陽向（ひなた）

佐々木：GETはまさに一歩を踏み出すそのきっかけを作っているなと思います。一方で、海外に行けば行くほど日本についてもっと詳しくなるべきだとも感じます。「若者に知ってほしい日本」について教えてください。

中村副会長：まず八百万の神様に守られていることですね。世界にもたくさんの遺産がありますが、日本の神社やお寺は現在も使われていて1300年前から同じ営みをしていますよね。このような国はほとんどないと思います。短歌や俳句も、五七五の中に世界観を入れてしまう、そんな文化を持っているんです。文化というのは若者にも素養として、世界に行った時のために学んでおいてほしいです。あと、景色もきれい。今は難しいですけど、日本には行きたいなと思う場所がたくさんありますよね。

インターン生　佐藤 喜一（よしかず）

佐藤：貴重なお話をありがとうございます。少し協会の他の事業について話を広げたいと思います。若者力大賞に参加した学生・受賞者にはどのようなことを吸収してほしいですか？

中村副会長：自分のやってきたことを進化させてほしいです。賞を受けたことが終点ではなく、始まりだと思って。自分の想い・やってきたことが認められたということを踏み台にして更なるステップアップをしてほしいです。

佐々木：そうですよね、若者力大賞は毎回刺激を受けます。最後に、日本の若者に対して期待することはなんでしょうか？

中村副会長：ロボットコンテストや人力飛行機を飛ばしている若者を見ると、日本もまだまだ捨てたもんじゃないなと嬉しく感じます。自由で豊かな発想は若者の特権ですよね。私は若者力というのは『若者人口×エネルギー』だと思っています。そこに関して心配していることは、今はどんどん子供が減っていること。つまり今の日本の若者力を維持するには、全体のエネルギー量を人数で割り算すると、1人あたりのエネルギーを倍増しないと維持できないということに気づいてほしいです。そういう意識づけを若者に訴えていきたいですね。そしてエネルギーを持ち続けるためには、活動の仲間を増やしていく、同志を作っていくことが大切です。切磋琢磨や協調していくことがエネルギーに変換されるので。コロナ禍だけれども、若者の発信力を武器にこれからも頑張ってください。

佐々木：『若者力＝若者人口×エネルギー』に共感しました。これからも頑張ります。本日はありがとうございました。

※若者へのメッセージを動画でいただきましたが、そちらはホームページにてご覧いただけます。

特集② 評議員の紹介

Councilor introduction

【評議員会会長】永野 毅（東京海上ホールディングス株式会社 取締役会長）
【評議員会副会長】中村 公一（山九株式会社 代表取締役会長）
【評議員】黒須 やすこ（ピアニスト）
【評議員】鈴木 貴士（五十鈴株式会社 代表取締役社長）
【評議員】中西 泰比古（東銀リース株式会社 元代表取締役会長）
【評議員】林　直樹（イオン株式会社 元取締役会議長）

本年5月に新しく評議員に就任した方々からメッセージをいただきました。（五十音順）

出雲 充（いずも みつる）
株式会社ユーグレナ
代表取締役社長

略歴：東京大学農学部卒業後、2002年東京三菱銀行入行。2005年株式会社ユーグレナを創業、代表取締役社長就任。世界初の微細藻ユーグレナ（和名：ミドリムシ）食用屋外大量培養に成功。
世界経済フォーラム（ダボス会議）ヤンググローバルリーダー、第一回日本ベンチャー大賞「内閣総理大臣賞」受賞。著書に『僕はミドリムシで世界を救うことに決めた。』（小学館新書）『サステナブルビジネス』（PHP研究所）

メッセージ：2025年に私たちは大きな転換期を迎えます。2000年以降に成人する「ミレニアル世代」、その下の世代のZ世代が、生産年齢人口（15歳～64歳までの働く人）の過半数を占めるのが2025年です。2025年になれば、世界の多くの人たちが、儲けを最優先する資本主義的価値観から、サステナブルな価値観を重要視するようになります。私たちは、その価値観の大逆転が起きる前に、行動しなければなりません。日本ユースリーダー協会の皆さんと共に、今からサステナビリティを第一に考える、そんな世界作りをしていきたいです。

漆 紫穂子（うるし しほこ）
学校法人品川女子学院
理事長

略歴：品川女子学院理事長、早稲田大学大学院スポーツ科学研究科修了。教育再生実行会議委員（内閣官房）、行政改革推進会議構成員（内閣官房）。同校は28プロジェクトにより社会と子どもを繋ぐ学校作りを実践している。著書に『女の子が幸せになる子育て』（2020. 大和書房）他多数。

メッセージ：協会との出会いはGETに参加した生徒からの報告でした。「恵まれすぎていて社会課題が見えなかったが、参加して衝撃を受け、目標ができた。是非後輩にも勧めてほしい」と。その後も、さくらサイエンスプログラムによる交流などご縁が続いています。多くの卒業生を見てきて、若い時の経験が将来に大きく影響することを実感しています。若者力大賞の受賞者の共通点も、その行動の手前に、きっかけとなる体験があることと感じます。ユースリーダー協会の事業はまさに、この体験を与える場となっていると思います。40年近い学校現場の経験から、社会と若者をつなぐ場作りに貢献したいと思っています。

近藤 正晃ジェームス（こんどう まさあきら）
公益財団法人
国際文化会館理事長

略歴：マッキンゼー、内閣府参与、Twitter Japan株式会社代表取締役会長・Twitter本社副社長などを経て、2019年より現職。NPO法人や財団の設立等にも多く関わる。慶應義塾大学経済学部卒業、ハーバード大学経営大学院修了、イェール大学Yale World Fellow。

メッセージ：現在、コロナ禍、気候変動、国際秩序の不安定化、民主主義の後退、マイノリティの抑圧、貧富の拡大といった地球規模の課題が我々を取り巻いています。これらは歴史の産物であり、言い換えれば、大人が作った負の遺産です。
求められるのは、こうした過去を踏襲することではなく、より理想的な未来を創造する力です。より良い世の中を創ろうという人がいなければ、世界は変わることはありません。若い皆さんの斬新な発想と行動力は、多くの人を惹きつけ、社会を動かします。だからこそ、若者は、社会の夢であり、希望なのです。応援しています。

佐藤真希子（さとう まきこ）
株式会社iSGSインベストメントワークス
取締役代表パートナー

略歴：1977年生まれ。2000年に株式会社サイバーエージェント入社。2006年より株式会社サイバーエージェント・ベンチャーズで、国内のベンチャー企業を対象とした投資事業に従事。2016年6月に株式会社iSGSインベストメントワークスを設立、取締役代表パートナーに就任（独立系ベンチャーキャピタルにおける日本初の女性パートナー）。文部科学省次世代アントレプレナー育成事業（EDGE-NEXT）推進委員などをつとめる。

メッセージ：私はベンチャーキャピタルという社会課題の解決や、業界課題の解決に全力でチャレンジしている起業家を応援する仕事をしています。今の世の中は課題に溢れ、暗い未来を想像してしまいがちですが、たった1人の情熱が世界を変えていくのを日々目の当たりにしており、微力ながら日本ユースリーダー協会を通じて、情熱溢れる若い方々を応援できることを大変嬉しく思っています。私には子供が3人いますが、彼らが大人になる10年後までに、いい連鎖を作って行く一助を担えたら幸いです。

社会啓発事業 第12回若者力大賞表彰式スピーチ

The 12th Youthleader Awards

表彰式は本年5月11日（火）に、新型コロナ感染症の感染状況に配慮して無観客開催で実施しました。

●スピーチの全容は公式YouTubeチャンネルで（P8参照）

◆開会挨拶（永野毅 審査委員長・当協会会長）

受賞者の皆様、本当におめでとうございます。今回緊急事態宣言下でリアルかリモートか最後まで悩み抜いて、皆さんのお力添えを得てここまで漕ぎつけることができました。この会場には一部の審査員と受賞者の方々を合わせて合計10名程しかいませんが、200名以上の方がYouTubeから参加してくださっています。ありがとうございます。

当協会は一昨年50周年を迎えることができました。私は昨年から前任の三村前会長の後を受け継いで会長となりました。日本を代表して国際舞台で活躍する若者を応援したい、そして夢と誇りを持って若者が活躍できるような社会を日本に作っていきたい、という目的で作った協会が日本ユースリーダー協会です。

「若者は国の宝だ」これは三村前会長がいつも仰っていたことです。地道に地域で頑張っている若者や社会を良くするために頑張っている人たちを応援したい。そしてその人たちに光をあて、活動を世の中に広めていきたい。さらに、若い人たちに取り組みを見てもらうことで「気付き」を得て行動に移す。こういう思いで始めたのが若者力大賞です。本協会が40周年の2009年に始めて以来、今回で12回目になります。

今回は5名の個人の方と1つの団体の素晴らしい取り組みを表彰することになりました。

また、今回初めて選考のプロセスに学生に加わってもらいました。その学生たちも、今日受賞される方々の取り組みを見て大きな刺激を受けています。

世界は今、様々なところで「分断」しています。この分断を、新たな「連帯」の力にできるかどうか、連帯の時代にまた戻せるかどうかは若い人たち同士の信頼や、社会を少しでも良くしていきたいという思いの力に尽きると思います。私は若い人たちの力を信じています。そして、次の時代を託していきたいと思っています。

ぜひ皆様には、この若い人たちと日本ユースリーダー協会に引き続き末長いご支援をいただければと思います。今日ご覧頂く皆様に新しい気づきが生まれることを祈念しまして、開会の言葉とさせていただきます。

若者力大賞 The 12th YOUTH LEADER

古井 康介（ふるい こうすけ）さん
株式会社POTETO Media 代表取締役

私たちの会社は、2016年にアメリカ大統領選挙を見に行くところから始まりました。

大学3年生だった私は「アメリカは女性で初めて大統領が生まれる年になるらしい。そこにトランプという男がやってくるらしい。」と聞きつけ興味本位で行ってみたんです。アメリカの選挙を見てきて、このプロモーションを日本でやったら面白いんじゃないかなと。参加していた若者が、ヒラリーさんが負けた時「私たちのアイデンティティが否定された」と泣いていたんです。日本で女性の総理大臣が誕生できなかった時にどれだけの方が涙を流すんだろうと思いました。

アメリカで見てきたものを日本に持ち帰れないかと思って作ったのがPOTETOでした。

まず、大統領選で見てきたことを動画で配信しました。政治をわかりやすく面白く発信することは可能性があるんじゃないかと、6人の仲間と一緒に政治の発信を始めました。

政治家さんからどうやったら政治をわかりやすく発信できるか相談を受けたり、高校では今世の中で何が起きているのかゲーム式の授業で伝えたりしました。コロナ禍で使われている制度はいっぱいありますが、それをツイッターで発信して去年は1,000万人に制度を届ける活動をしました。

自分の話ですが、中学生の時リーマンショックがありお金のない生活が始まったんです。大学進学は難しいかなと思っていました。国立大学だったら行っても大丈夫と言われたんですが、すごい大人がたくさんいる東京に出て、その中でいろんな挑戦をしてみたいと思っていました。高校3年生の時に奨学金の募集を見て、これに受かれば東京に行けると希望を持って勉強を頑張って合格することができたんです。

政治は自分一人じゃ超えられない壁を超えさせてくれるツールでした。そういう政治の力をもっと届けたい、制度が使われていないことはもったいないと思ったんです。

この場に立たせていただいているのは、両親がすごく愛情深く育ててくれたからだと感じています。小学生の時に言われた言葉を覚えているんです。「世界中の誰が敵になってもあなたの味方だ」と。自分を応援し続けてくれる人がいることはすごく力になるんだなと今改めて感じています。

お金が無かろうがどういう生まれであろうが、生きたい人生を生きていける社会を作っていけるように、これからもPOTETOは政治を皆さんのところに届けて、そんな社会を作る挑戦を頑張っていきたいと思っています。

ユースリーダー賞

鶴田 七瀬（つるた ななせ）さん
一般社団法人ソウレッジ 代表

私は2年前にソウレッジを立ち上げ、性教育教材を通じて、性教育への悩みを抱える教育者や保護者に寄り添う事業を行っています。教材はトイレットペーパーやボードゲームなど一般的な教材とは少し異なるものです。

それは私が留学中、日常に性教育がある環境に触れたという経験が影響しています。

日本ではYouTubeなどに当たり前に性的な情報が溢れていることはご存知ですか？自分たちの性的な経験を話す動画や、エルサゲートと呼ばれる人気キャラクターによる悪質な性暴力の動画も子供たちのすぐそばに存在します。

そのような動画が大きな影響を与える一方、正しい性教育の機会が少なくバランスが取れていないのが現状です。

そこで私たちは、子供を守るための知識を日常的に伝えていくことが必要と思い、性教育を日常に取り入れる活動をしています。

若者の中絶や危険な性行為が減少している国を訪問した時「日常の中の性教育」がキーワードだと感じました。

日本の性教育には「勉強」のイメージが強いですが、私は「行動を変えるための環境整備」と考えています。子供たちが悩んだ時に気軽に相談したり、大人がその相談に対応したりできるよう、周りの大人のサポートに取り組んでいます。

性教育というテーマを公の場で話すことができ感激しています！

皆さんと一緒に社会を変えていければ嬉しいなと思います。

ユースリーダー賞

山崎 聡一郎（やまさき そういちろう）さん
教育研究家

私は大学2年生の時に「法律は皆のためにあるのに、どうして皆が読めるように書かれていないんだろう」と疑問を抱いて、大学3年生の時に最初の「こども六法」を作り、一昨年に本として出版することができました。多くの方に本を手に取って頂き、沢山の方の後押しもあってこの賞を頂けたと思います。

実は、こども六法はとても「独りよがり」な取り組みです。こども六法が欲しかったのは、小学校の時にいじめの被害に遭っていた当時の自分でした。「たった1人、小学生の時の自分を救う」ために世に送り出した本なのです。それが多くの人の共感を呼んで広く受け入れられました。

最近、小学校の頃に仲の良かった友人から連絡が来て「いじめられていたんだ。知らなかった」と言われました。いじめは周りからすごく見えづらいものです。また、加害者の子供もいじめに駆り立てられるような環境に身を置かなければならなかったと言う意味では「大人の被害者」です。

自分もいじめの被害に遭っても大人は誰も救ってくれなかった。大人を動かしていくためにはどうしたらいいんだろう？その発想で動いているのが、こども六法プロジェクトです。

このプロジェクトでは「大人を動かす」という選択肢を子どもたちと一緒に考えていきます。一人一人が問題だと思っていることに取り組み、幸せを追求していく社会になって欲しいと思います。

ユースリーダー支援賞・個人部門

白石 祥和（しらいし よしかず）さん
特定非営利活動法人With優 代表

私は山形県米沢市で14年間活動を続けてきました。

立ち上げの大きなきっかけは、同級生が自ら命を絶ってしまったことです。

活動を続けられた大きな理由は家族や地域の方の応援です。応援してくれる人がいることは当たり前のことではないと思っています。

25歳の春、学校に行けない子どものための学校を作ろうと、思いをチラシにして市内を回りました。その夏にフリースクールが開校しましたが、行政からの支援はなく朝晩アルバイトをして活動していました。生徒は口コミで増え、100名を超える子どもを受け入れてきました。運営は厳しいですが、寄付と地域の支えで継続しています。

大きな事業は、ニートや引きこもりの就労支援です。

8年前、トレーニングや相談の場として会員制居酒屋を立ち上げ、50名を超える若者が就職しました。

2年前にはお子さんを連れて食事や相談ができるカフェを立ち上げ、フリースクールの子どもたちが運営するレストランにも挑戦しています。

子どもたちには「この地域で生まれ育ってよかった」と良い思い出を持って大人になってほしいです。

今後は世界に目を向けた事業にも挑戦したいです。

一人でも多くの若者が希望を持って生き抜けるように、彼らの挑戦を支えられる地域づくりを目指し活動していきたいと思います。

一度きりの人生、後悔しないようこれからも挑戦し続けていきたいです。

ユースリーダー支援賞・団体部門

いちほの会

発起人：藤田（ふじた） 琴子（ことこ）さん

いちほの会は「一時保護所を子どもたちが安心できる場所にしたい」と児童福祉の現場のソーシャルワーカーが集まって2019年から活動している任意団体です。

虐待やDVなどの家庭の問題の中で過ごしている子どもたちが保護される場所を一時保護所といいます。

子どもの中には「一時保護してもらってよかった」と感じている子もいれば、管理的なルールの中で「苦しい思いをした。もう保護所には行きたくない」と感じている子もいます。

こうした問題は誰かや何かのせいにしていては解決しません。問題の構造に対してできることを考えて、子どもたちが安心して過ごせる場を増やしたい、と会を立ち上げました。

最初は、保護所の職員だけではなく関係者や保護所に入ったことのある若者も含めて、保護所をどうしたらいいかを意見交換をする場「スタッフ交流会」を作りました。そこで、職員たち自身も傷ついたり、葛藤を抱えて疲弊していたりという状況がわかってきました。「子どもたちの心に寄り添って、子どもたちの声をゆっくり聞く時間を持ちたい」と願っている職員たちの想いを支えることも必要な活動です。また、政策を作る人たちに集まった声をつなげていく役割も担おうとしています。

子どもたちに寄り添いたい、支えたいという想いをもった人たちを応援する活動に、ぜひ皆さんにも参加していただきたいと願っています。

実行委員会特別賞

中川（なかがわ） 花乃（はなの）さん

支援団体 StellabO（ステラボ） 代表

私たちStellabOは、親や身近な人ががんに罹患した子どもたちのケアやサポートなどを行っています。

活動のきっかけは、小学校6年生の時に父親ががんに罹患し、その時「もう会えなくなってしまうのではないか」という不安を自分の中に閉じ込めてしまっていたことです。

日本はがん大国と言われていますが、親ががん患者の子どもたちへのサポートは未だ充実していません。「患者対応に忙しくご家族のことまで考えられていない」と医療従事者の方に聞き、当事者である私たちが行動を起こさなければならないという使命を感じました。

私たちはアートセラピーを通して子どもたちと向き合ってきました。親ががんに罹患している子どもの家を訪問して一緒に絵本を読むなど、親子の時間を作りました。

カナダ留学中、現地の団体と協力してがん検査の募金を募ったり、がんを周知する活動も行ったりしました。当初はなかなか活動の重要性を理解してもらえませんでしたが、訪問先のお母様に「私たち家族を応援してくれる人がいると分かってとても嬉しかった」と言われ、私たちの活動は小さくても意味があるんだと実感しました。

また、未完成でも自分が信じた事に向かってまっすぐ進んでいくことの重要性を学びました。

これからも、どんな環境でも子どもたちが安心して輝ける社会をつくっていきたいと思います。

編集後記

初めて広報誌に携わらせていただきました。インタビューから文字起こし、まとめ作業など、インターン生らしい活動になったと思います。
インタビュー時の会話の雰囲気や印象的だった内容を、誰が読んでも伝わるように会話の構成を考えました。自分達がまとめた文章が広報誌として完成されていくのを見てとても感動しました。目に見える形になったことでやりがいを感じることができました。ありがとうございました。（インターン 佐々木）

中村副会長のお話を聞いて、若者のためにこんなにも情熱をもって考えてくださるのだと嬉しくなりました。
期待はされても支援はされないと考えている若者も少なくないと思います。
その中でも日本ユースリーダー協会は若者に対して支援だけでなく、お手本となるような大人の方がたくさんいて、どうしたら良いかをみなさんで考え実行してくださります。
改めてGETからさくらサイエンスや若者力大賞に参加しインターンシップ生として協会に育てられ、恵まれていると感じることができました。ありがとうございました。（インターン 佐藤）

2021年度活動

Activities report of 2021

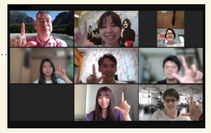
2021年度上期活動実績

4月
- 20㊏ — 第1回運営幹事会
- 23㊐ — 第1回理事会（愛宕山弁護士ビル）
- 27㊋ — 第1回リーダー育成委員会

5月
- 11㊋ — 第12回若者力大賞表彰式
- 14㊏ — 第2回運営幹事会
- 20㊍ — 評議員会（東京海上ホールディングス株式会社本社）
- 29㊏ — The 47th AJAFA-21 TVC

6月
- 1㊋ — 第1回つなぐ委員会
- 4㊏ — 第1回社会啓発委員会
- 11㊏ — 若者力大賞実行委員会解散式
LEP2020修了式（ハリウッドホール）
- 18㊏ — 第3回運営幹事会
- 24㊏ — 第2回リーダー育成・国際交流委員会

7月
- 9㊏ — LEP参加者顔合わせ会
- 16㊏ — 第4回運営幹事会
- 29㊍ — LEPキャリア対談
（栃久保奈々氏）
- 30㊏ — 第1回インターンMTG



8月
- 17㊋ — 第1回若者力大賞選考委員会
- 20㊏ — 第5回運営幹事会
- 26㊍ — 第2回インターンMTG
- 28㊏ — The 48th AJAFA-21 TVC
- 30㊊ — 第2回若者力大賞
選考委員会
（赤坂区民センター）
- 中止 — GETオンライン
スタディツアー（タイ）

9月
- 7㊋ — 第2回つなぐ委員会
- 10㊏ — 第2回社会啓発委員会
- 17㊏ — 第6回運営幹事会
- 21㊋ — 第3回インターンMTG
（事務局）
- 30㊍ — アジアの会（第68回）

2021年度下期活動予定

10月
- 8㊏ — LEPキャリア対談（小室副理事長）
- 10㊐ — 第3回若者力大賞選考委員会
- 14㊍ — 第4回若者力大賞選考委員会
- 15㊏ — 第7回運営幹事会
- 19㊋ — 第4回インターンMTG（事務局）
LEPオンライン映画鑑賞会
- 25㊊ — 若者力大賞審査委員会
（東京海上ホールディングス株式会社本社）
- 28㊍ — アジアの会（第69回）

11月
- 10㊍ — LEPキャリア対談（榮あずさ氏）
- 18㊍ — 法人会員懇談会（芝パークホテル）
- 19㊏ — 第8回運営幹事会
- 26㊏ — 第2回理事会（愛宕山弁護士ビル）
- 27㊐ — The 49th AJAFA-21 TVC
- 予定 — 第3回リーダー育成・国際交流委員会

12月
- 3㊏ — 若者力大賞受賞者イベント
- 7㊋ — 第3回つなぐ委員会
- 10㊏ — 第3回社会啓発委員会
- 11㊐ — AJAFA-21オンラインイベント
- 17㊏ — 第9回運営幹事会

1月
- 21㊏ — 第10回運営幹事会
- 予定 — LEPキャリア対談

2月
- 17㊍ — 第13回若者力大賞表彰式（ハリウッドホール）
- 18㊏ — 第11回運営幹事会
- 26㊏~27㊐ — The 34th AJAFA-21 ECM
- 予定 — 第4回リーダー育成・国際交流委員会

3月
- 1㊋ — 第4回つなぐ委員会
- 4㊏ — 第4回社会啓発委員会
- 11㊏ — 第12回運営幹事会
- 18㊏ — 第3回理事会
- 予定 — GETオンラインスタディツアー、
さくらサイエンスプログラム、異業種交流研修会

※場所の記載がないものはオンライン開催